

第3章 解体施工			第2ノ5節 鉄筋コンクリート造等																																
節	項 目	特 記 事 項	節	項 目	特 記 事 項																														
第13節	1 適用	(1) この節は主要構造部が鉄筋コンクリート造及び補強コンクリートブロック造(以下「鉄筋コンクリート造等」という。)に適用する。 (2) 鉄筋コンクリート造等と他の構造が混在しているときは、それぞれの構造の節を適用する。	第2ノ5節	⑤ その他 発生材	(1) 本節のいずれにも該当しない再利用不可能な発生材は、適切な処理を行い、最終処分場において処分する。 (再利用可能な発生材は、監督職員と協議のうえ再利用とする。) 依頼完了後は速やかに処理を引き受けたことを証明する書類を監督職員に提出する。 <table><tr><th>見込まれる発生材</th><th>処 分 等</th></tr><tr><td>○仕上材</td><td>※ 安定型処分場</td><td>-</td></tr><tr><td>○仕上材 (石膏ボード)</td><td>※ 管理型処分場</td><td>- 再利用</td></tr><tr><td>○廃プラスチック</td><td>※ 安定型処分場</td><td>-</td></tr><tr><td>・ A L C</td><td>※ 安定型処分場</td><td>-</td></tr><tr><td>・ 木木板</td><td>※ 管理型処分場</td><td>-</td></tr><tr><td>・ 陶磁器</td><td>※ 安定型処分場</td><td>-</td></tr><tr><td>・ ガラス</td><td>※ 安定型処分場</td><td>- 再利用</td></tr></table> (2) フロン発泡性断熱材については、受入先リスト提出の上、監督職員との協議を行う。 (3) 産業廃棄物広域再生利用指定制度により再資源化に努める。 (監督職員との協議による) ・ パーティクルボード ・ ロックウール ・ グラスウール ・ 塩化ビニル管	見込まれる発生材	処 分 等	○仕上材	※ 安定型処分場	-	○仕上材 (石膏ボード)	※ 管理型処分場	- 再利用	○廃プラスチック	※ 安定型処分場	-	・ A L C	※ 安定型処分場	-	・ 木木板	※ 管理型処分場	-	・ 陶磁器	※ 安定型処分場	-	・ ガラス	※ 安定型処分場	- 再利用							
	見込まれる発生材	処 分 等																																	
	○仕上材	※ 安定型処分場		-																															
○仕上材 (石膏ボード)	※ 管理型処分場	- 再利用																																	
○廃プラスチック	※ 安定型処分場	-																																	
・ A L C	※ 安定型処分場	-																																	
・ 木木板	※ 管理型処分場	-																																	
・ 陶磁器	※ 安定型処分場	-																																	
・ ガラス	※ 安定型処分場	- 再利用																																	
第4章 建設廃棄物の処理			第5章 特別管理産業廃棄物の処理等																																
節	項 目	特 記 事 項	節	項 目	特 記 事 項																														
第10節 一般事項	① 施工調査	・ 「建設廃棄物」に応じた収集運搬業者、処分業者、中間処理施設、再資源化施設、最終処分場の受入条件等を調査する。(4.1.3)	第1ノ5節 一般事項	① 施工調査	・ 特別管理産業廃棄物等の調査は次による。(5.1.3) (1) 特別管理産業廃棄物等の使用状況について、設計図書及び目視により製造所名、製造年、型式、種類、数量等を調査する。 (2) 特別管理産業廃棄物等に応じた、収集運搬業者、処分業者、回収業者、産業廃棄物処理施設、処分条件等を調査する。 (3) 調査結果は調査に取りまとめ、監督職員に提出する。																														
	① 機器	解体撤去機器類は、それぞれの材質に応じて処理をする。		第2ノ5節 その他	① 有害物等の取扱い	<table><tr><th>見込まれる有害物等</th><th>処 理</th></tr><tr><td>・ 蛍光ランプ・水銀ランプ</td><td>サイズ別にダンボール箱に梱包して再処理業者に再処理を依頼する。</td></tr><tr><td>・ Ni-cd電池</td><td>産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者又は製造メーカーにて再処理する。</td></tr><tr><td>・ アルカリ蓄電池</td><td>産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者又は製造メーカーにて再処理する。</td></tr><tr><td>・ 鉛蓄電池</td><td>産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者又は製造メーカーにて再処理する。</td></tr><tr><td>・ イオン化式煙感知器</td><td>煙感知器製造メーカーにて再処理する。</td></tr><tr><td>・ フロン ・ ハロゲン</td><td>回収事業者により回収し、処理事業者に処理を依頼する。</td></tr><tr><td>・ 臭化リチウム</td><td>回収事業者により回収し、処理事業者に処理を依頼する。</td></tr><tr><td>・ 廃油</td><td>産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者にて中間処理する。</td></tr><tr><td>・ ふっつ化硫黄(SF6)ガス</td><td>回収事業者により回収し、処理事業者に処理を依頼する。</td></tr><tr><td>・ 廃石棉</td><td>※ 管理型処分場 (二重袋詰め及び固化)</td><td>-</td></tr><tr><td>・ 石綿含有成形板</td><td>※ 安定型処分場 (二重袋詰め)</td><td>-</td></tr><tr><td>・ 焼却灰等</td><td>※ 管理型処分場 (二重袋詰め及び固化)</td><td>-</td></tr></table> 但し付着物のダイオキシン濃度が3000Pg/g以下の場合 上記該当項目の依頼完了後は、速やかに再処理業者が処理を引き受けた事を証明する書類を監督職員に提出する。 ・ 引渡しを要するもの (P C B) 上記の保管場所 () () (1) P C B 機器その疑わしい機器は、管理できる場所に集積・保管し、移動を禁止すること。また、現場関係者に移動禁止を周知徹底させること。 (2) 特別管理産業廃棄物管理責任者 (県職員) の立ち会いのもとで、P C B 機器の分類、引き渡し、運搬を行うこと。 (3) P C B 機器・P C B 含有シーリング材の取り外し、集積、保管、分類、引き渡し、運搬の状況を記録し、監督員に報告する。 (4) 焼却灰、付着物のダイオキシン濃度が3000Pg/gを超えた場合には、特別管理産業廃棄物となる。あわせて、解体時にも特段の注意が必要となる。 (5) 特定化学物質等関係法令等に従い回収又は処分する。	見込まれる有害物等	処 理	・ 蛍光ランプ・水銀ランプ	サイズ別にダンボール箱に梱包して再処理業者に再処理を依頼する。	・ Ni-cd電池	産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者又は製造メーカーにて再処理する。	・ アルカリ蓄電池	産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者又は製造メーカーにて再処理する。	・ 鉛蓄電池	産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者又は製造メーカーにて再処理する。	・ イオン化式煙感知器	煙感知器製造メーカーにて再処理する。	・ フロン ・ ハロゲン	回収事業者により回収し、処理事業者に処理を依頼する。	・ 臭化リチウム	回収事業者により回収し、処理事業者に処理を依頼する。	・ 廃油	産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者にて中間処理する。	・ ふっつ化硫黄(SF6)ガス	回収事業者により回収し、処理事業者に処理を依頼する。	・ 廃石棉	※ 管理型処分場 (二重袋詰め及び固化)	-	・ 石綿含有成形板	※ 安定型処分場 (二重袋詰め)	-	・ 焼却灰等	※ 管理型処分場 (二重袋詰め及び固化)	-
	見込まれる有害物等	処 理																																	
・ 蛍光ランプ・水銀ランプ	サイズ別にダンボール箱に梱包して再処理業者に再処理を依頼する。																																		
・ Ni-cd電池	産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者又は製造メーカーにて再処理する。																																		
・ アルカリ蓄電池	産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者又は製造メーカーにて再処理する。																																		
・ 鉛蓄電池	産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者又は製造メーカーにて再処理する。																																		
・ イオン化式煙感知器	煙感知器製造メーカーにて再処理する。																																		
・ フロン ・ ハロゲン	回収事業者により回収し、処理事業者に処理を依頼する。																																		
・ 臭化リチウム	回収事業者により回収し、処理事業者に処理を依頼する。																																		
・ 廃油	産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者にて中間処理する。																																		
・ ふっつ化硫黄(SF6)ガス	回収事業者により回収し、処理事業者に処理を依頼する。																																		
・ 廃石棉	※ 管理型処分場 (二重袋詰め及び固化)	-																																	
・ 石綿含有成形板	※ 安定型処分場 (二重袋詰め)	-																																	
・ 焼却灰等	※ 管理型処分場 (二重袋詰め及び固化)	-																																	
第6章 アスベスト含有建材の除去等			第6章 アスベスト含有建材の除去等																																
節	項 目	特 記 事 項	節	項 目	特 記 事 項																														
第1ノ5節 一般事項	① 施工調査	・ 「建設廃棄物」に応じた収集運搬業者、処分業者、中間処理施設、再資源化施設、最終処分場の受入条件等を調査する。(4.1.3)	第1ノ5節 一般事項	① 用語の定義	・ 「アスベスト含有建材」とは、アスベスト含有吹き付け材、アスベスト含有保温材等及びアスベスト含有成形板をいう。(6.1.2) ・ 「アスベスト含有吹き付け材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する吹き付け材をいう。 ・ 「アスベスト含有保温材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する保温材、耐火被覆板、断熱材をいう。 ・ 「アスベスト含有成形板」とは、上記以外のアスベストを重量で1%を超えて含有する成形板をいう。																														
	① 機器	解体撤去機器類は、それぞれの材質に応じて処理をする。		第2ノ5節 その他	② 施工調査	・ (a) アスベスト含有建材の有無を調査する施工調査は、目視及び設計図書等により製品名、製造所名、製造年等を確認することにより行い、調査結果を取りまとめ監督職員に提出する。(6.1.3) ・ (b) 施工調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督員と協議。 ・ (c) 分析によるアスベスト含有調査。																													
	② 木材	(1) 木材・合板類は、中間処理場にて処理を行い、リサイクルを図る。 リサイクル不可能な木材については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。 (2) 依頼完了後は速やかに中間処理業者が処理を引き受けたことを証明する書類を監督職員に提出する。 (3) 有害物を含む (C C A 処理木材等) の処理については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。			③ アスベスト粉じん濃度測定	・ (a) アスベスト粉じん濃度測定は特記による。(6.1.4) ・ (b) アスベスト粉じん濃度の測定方法は「 J I S K 3 8 5 0 - 1 空気中の繊維状粒子測定方法 - 第一部 : 位相差顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による。 ・ (c) 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 ・ (d) アスベスト粉じん濃度測定における計数分析は、作業環境測定士が行うものとする。																													
第4章 建設廃棄物の処理			第5章 特別管理産業廃棄物の処理等																																
節	項 目	特 記 事 項	節	項 目	特 記 事 項																														
第10節 一般事項	① 施工調査	・ 「建設廃棄物」に応じた収集運搬業者、処分業者、中間処理施設、再資源化施設、最終処分場の受入条件等を調査する。(4.1.3)	第1ノ5節 一般事項	① 施工調査	・ 特別管理産業廃棄物等の調査は次による。(5.1.3) (1) 特別管理産業廃棄物等の使用状況について、設計図書及び目視により製造所名、製造年、型式、種類、数量等を調査する。 (2) 特別管理産業廃棄物等に応じた、収集運搬業者、処分業者、回収業者、産業廃棄物処理施設、処分条件等を調査する。 (3) 調査結果は調査に取りまとめ、監督職員に提出する。																														
	① 機器	解体撤去機器類は、それぞれの材質に応じて処理をする。		第2ノ5節 その他	① 有害物等の取扱い	<table><tr><th>見込まれる有害物等</th><th>処 理</th></tr><tr><td>・ 蛍光ランプ・水銀ランプ</td><td>サイズ別にダンボール箱に梱包して再処理業者に再処理を依頼する。</td></tr><tr><td>・ Ni-cd電池</td><td>産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者又は製造メーカーにて再処理する。</td></tr><tr><td>・ アルカリ蓄電池</td><td>産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者又は製造メーカーにて再処理する。</td></tr><tr><td>・ 鉛蓄電池</td><td>産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者又は製造メーカーにて再処理する。</td></tr><tr><td>・ イオン化式煙感知器</td><td>煙感知器製造メーカーにて再処理する。</td></tr><tr><td>・ フロン ・ ハロゲン</td><td>回収事業者により回収し、処理事業者に処理を依頼する。</td></tr><tr><td>・ 臭化リチウム</td><td>回収事業者により回収し、処理事業者に処理を依頼する。</td></tr><tr><td>・ 廃油</td><td>産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者にて中間処理する。</td></tr><tr><td>・ ふっつ化硫黄(SF6)ガス</td><td>回収事業者により回収し、処理事業者に処理を依頼する。</td></tr><tr><td>・ 廃石棉</td><td>※ 管理型処分場 (二重袋詰め及び固化)</td><td>-</td></tr><tr><td>・ 石綿含有成形板</td><td>※ 安定型処分場 (二重袋詰め)</td><td>-</td></tr><tr><td>・ 焼却灰等</td><td>※ 管理型処分場 (二重袋詰め及び固化)</td><td>-</td></tr></table> 但し付着物のダイオキシン濃度が3000Pg/g以下の場合 上記該当項目の依頼完了後は、速やかに再処理業者が処理を引き受けた事を証明する書類を監督職員に提出する。 ・ 引渡しを要するもの (P C B) 上記の保管場所 () () (1) P C B 機器その疑わしい機器は、管理できる場所に集積・保管し、移動を禁止すること。また、現場関係者に移動禁止を周知徹底させること。 (2) 特別管理産業廃棄物管理責任者 (県職員) の立ち会いのもとで、P C B 機器の分類、引き渡し、運搬を行うこと。 (3) P C B 機器・P C B 含有シーリング材の取り外し、集積、保管、分類、引き渡し、運搬の状況を記録し、監督員に報告する。 (4) 焼却灰、付着物のダイオキシン濃度が3000Pg/gを超えた場合には、特別管理産業廃棄物となる。あわせて、解体時にも特段の注意が必要となる。 (5) 特定化学物質等関係法令等に従い回収又は処分する。	見込まれる有害物等	処 理	・ 蛍光ランプ・水銀ランプ	サイズ別にダンボール箱に梱包して再処理業者に再処理を依頼する。	・ Ni-cd電池	産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者又は製造メーカーにて再処理する。	・ アルカリ蓄電池	産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者又は製造メーカーにて再処理する。	・ 鉛蓄電池	産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者又は製造メーカーにて再処理する。	・ イオン化式煙感知器	煙感知器製造メーカーにて再処理する。	・ フロン ・ ハロゲン	回収事業者により回収し、処理事業者に処理を依頼する。	・ 臭化リチウム	回収事業者により回収し、処理事業者に処理を依頼する。	・ 廃油	産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者にて中間処理する。	・ ふっつ化硫黄(SF6)ガス	回収事業者により回収し、処理事業者に処理を依頼する。	・ 廃石棉	※ 管理型処分場 (二重袋詰め及び固化)	-	・ 石綿含有成形板	※ 安定型処分場 (二重袋詰め)	-	・ 焼却灰等	※ 管理型処分場 (二重袋詰め及び固化)	-
	見込まれる有害物等	処 理																																	
・ 蛍光ランプ・水銀ランプ	サイズ別にダンボール箱に梱包して再処理業者に再処理を依頼する。																																		
・ Ni-cd電池	産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者又は製造メーカーにて再処理する。																																		
・ アルカリ蓄電池	産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者又は製造メーカーにて再処理する。																																		
・ 鉛蓄電池	産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者又は製造メーカーにて再処理する。																																		
・ イオン化式煙感知器	煙感知器製造メーカーにて再処理する。																																		
・ フロン ・ ハロゲン	回収事業者により回収し、処理事業者に処理を依頼する。																																		
・ 臭化リチウム	回収事業者により回収し、処理事業者に処理を依頼する。																																		
・ 廃油	産業廃棄物の処理の許可を受けた処理業者にて中間処理する。																																		
・ ふっつ化硫黄(SF6)ガス	回収事業者により回収し、処理事業者に処理を依頼する。																																		
・ 廃石棉	※ 管理型処分場 (二重袋詰め及び固化)	-																																	
・ 石綿含有成形板	※ 安定型処分場 (二重袋詰め)	-																																	
・ 焼却灰等	※ 管理型処分場 (二重袋詰め及び固化)	-																																	
第6章 アスベスト含有建材の除去等			第6章 アスベスト含有建材の除去等																																
節	項 目	特 記 事 項	節	項 目	特 記 事 項																														
第1ノ5節 一般事項	① 施工調査	・ 「建設廃棄物」に応じた収集運搬業者、処分業者、中間処理施設、再資源化施設、最終処分場の受入条件等を調査する。(4.1.3)	第1ノ5節 一般事項	① 用語の定義	・ 「アスベスト含有建材」とは、アスベスト含有吹き付け材、アスベスト含有保温材等及びアスベスト含有成形板をいう。(6.1.2) ・ 「アスベスト含有吹き付け材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する吹き付け材をいう。 ・ 「アスベスト含有保温材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する保温材、耐火被覆板、断熱材をいう。 ・ 「アスベスト含有成形板」とは、上記以外のアスベストを重量で1%を超えて含有する成形板をいう。																														
	① 機器	解体撤去機器類は、それぞれの材質に応じて処理をする。		第2ノ5節 その他	② 施工調査	・ (a) アスベスト含有建材の有無を調査する施工調査は、目視及び設計図書等により製品名、製造所名、製造年等を確認することにより行い、調査結果を取りまとめ監督職員に提出する。(6.1.3) ・ (b) 施工調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督員と協議。 ・ (c) 分析によるアスベスト含有調査。																													
	② 木材	(1) 木材・合板類は、中間処理場にて処理を行い、リサイクルを図る。 リサイクル不可能な木材については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。 (2) 依頼完了後は速やかに中間処理業者が処理を引き受けたことを証明する書類を監督職員に提出する。 (3) 有害物を含む (C C A 処理木材等) の処理については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。			③ アスベスト粉じん濃度測定	・ (a) アスベスト粉じん濃度測定は特記による。(6.1.4) ・ (b) アスベスト粉じん濃度の測定方法は「 J I S K 3 8 5 0 - 1 空気中の繊維状粒子測定方法 - 第一部 : 位相差顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による。 ・ (c) 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 ・ (d) アスベスト粉じん濃度測定における計数分析は、作業環境測定士が行うものとする。																													
第4章 建設廃棄物の処理			第5章 特別管理産業廃棄物の処理等																																
節	項 目	特 記 事 項	節	項 目	特 記 事 項																														
第10節 一般事項	① 施工調査	・ 「建設廃棄物」に応じた収集運搬業者、処分業者、中間処理施設、再資源化施設、最終処分場の受入条件等を調査する。(4.1.3)	第1ノ5節 一般事項	① 用語の定義	・ 「アスベスト含有建材」とは、アスベスト含有吹き付け材、アスベスト含有保温材等及びアスベスト含有成形板をいう。(6.1.2) ・ 「アスベスト含有吹き付け材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する吹き付け材をいう。 ・ 「アスベスト含有保温材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する保温材、耐火被覆板、断熱材をいう。 ・ 「アスベスト含有成形板」とは、上記以外のアスベストを重量で1%を超えて含有する成形板をいう。																														
	① 機器	解体撤去機器類は、それぞれの材質に応じて処理をする。		第2ノ5節 その他	② 施工調査	・ (a) アスベスト含有建材の有無を調査する施工調査は、目視及び設計図書等により製品名、製造所名、製造年等を確認することにより行い、調査結果を取りまとめ監督職員に提出する。(6.1.3) ・ (b) 施工調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督員と協議。 ・ (c) 分析によるアスベスト含有調査。																													
	② 木材	(1) 木材・合板類は、中間処理場にて処理を行い、リサイクルを図る。 リサイクル不可能な木材については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。 (2) 依頼完了後は速やかに中間処理業者が処理を引き受けたことを証明する書類を監督職員に提出する。 (3) 有害物を含む (C C A 処理木材等) の処理については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。			③ アスベスト粉じん濃度測定	・ (a) アスベスト粉じん濃度測定は特記による。(6.1.4) ・ (b) アスベスト粉じん濃度の測定方法は「 J I S K 3 8 5 0 - 1 空気中の繊維状粒子測定方法 - 第一部 : 位相差顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による。 ・ (c) 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 ・ (d) アスベスト粉じん濃度測定における計数分析は、作業環境測定士が行うものとする。																													
第4章 建設廃棄物の処理			第5章 特別管理産業廃棄物の処理等																																
節	項 目	特 記 事 項	節	項 目	特 記 事 項																														
第10節 一般事項	① 施工調査	・ 「建設廃棄物」に応じた収集運搬業者、処分業者、中間処理施設、再資源化施設、最終処分場の受入条件等を調査する。(4.1.3)	第1ノ5節 一般事項	① 用語の定義	・ 「アスベスト含有建材」とは、アスベスト含有吹き付け材、アスベスト含有保温材等及びアスベスト含有成形板をいう。(6.1.2) ・ 「アスベスト含有吹き付け材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する吹き付け材をいう。 ・ 「アスベスト含有保温材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する保温材、耐火被覆板、断熱材をいう。 ・ 「アスベスト含有成形板」とは、上記以外のアスベストを重量で1%を超えて含有する成形板をいう。																														
	① 機器	解体撤去機器類は、それぞれの材質に応じて処理をする。		第2ノ5節 その他	② 施工調査	・ (a) アスベスト含有建材の有無を調査する施工調査は、目視及び設計図書等により製品名、製造所名、製造年等を確認することにより行い、調査結果を取りまとめ監督職員に提出する。(6.1.3) ・ (b) 施工調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督員と協議。 ・ (c) 分析によるアスベスト含有調査。																													
	② 木材	(1) 木材・合板類は、中間処理場にて処理を行い、リサイクルを図る。 リサイクル不可能な木材については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。 (2) 依頼完了後は速やかに中間処理業者が処理を引き受けたことを証明する書類を監督職員に提出する。 (3) 有害物を含む (C C A 処理木材等) の処理については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。			③ アスベスト粉じん濃度測定	・ (a) アスベスト粉じん濃度測定は特記による。(6.1.4) ・ (b) アスベスト粉じん濃度の測定方法は「 J I S K 3 8 5 0 - 1 空気中の繊維状粒子測定方法 - 第一部 : 位相差顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による。 ・ (c) 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 ・ (d) アスベスト粉じん濃度測定における計数分析は、作業環境測定士が行うものとする。																													
第4章 建設廃棄物の処理			第5章 特別管理産業廃棄物の処理等																																
節	項 目	特 記 事 項	節	項 目	特 記 事 項																														
第10節 一般事項	① 施工調査	・ 「建設廃棄物」に応じた収集運搬業者、処分業者、中間処理施設、再資源化施設、最終処分場の受入条件等を調査する。(4.1.3)	第1ノ5節 一般事項	① 用語の定義	・ 「アスベスト含有建材」とは、アスベスト含有吹き付け材、アスベスト含有保温材等及びアスベスト含有成形板をいう。(6.1.2) ・ 「アスベスト含有吹き付け材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する吹き付け材をいう。 ・ 「アスベスト含有保温材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する保温材、耐火被覆板、断熱材をいう。 ・ 「アスベスト含有成形板」とは、上記以外のアスベストを重量で1%を超えて含有する成形板をいう。																														
	① 機器	解体撤去機器類は、それぞれの材質に応じて処理をする。		第2ノ5節 その他	② 施工調査	・ (a) アスベスト含有建材の有無を調査する施工調査は、目視及び設計図書等により製品名、製造所名、製造年等を確認することにより行い、調査結果を取りまとめ監督職員に提出する。(6.1.3) ・ (b) 施工調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督員と協議。 ・ (c) 分析によるアスベスト含有調査。																													
	② 木材	(1) 木材・合板類は、中間処理場にて処理を行い、リサイクルを図る。 リサイクル不可能な木材については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。 (2) 依頼完了後は速やかに中間処理業者が処理を引き受けたことを証明する書類を監督職員に提出する。 (3) 有害物を含む (C C A 処理木材等) の処理については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。			③ アスベスト粉じん濃度測定	・ (a) アスベスト粉じん濃度測定は特記による。(6.1.4) ・ (b) アスベスト粉じん濃度の測定方法は「 J I S K 3 8 5 0 - 1 空気中の繊維状粒子測定方法 - 第一部 : 位相差顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による。 ・ (c) 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 ・ (d) アスベスト粉じん濃度測定における計数分析は、作業環境測定士が行うものとする。																													
第4章 建設廃棄物の処理			第5章 特別管理産業廃棄物の処理等																																
節	項 目	特 記 事 項	節	項 目	特 記 事 項																														
第10節 一般事項	① 施工調査	・ 「建設廃棄物」に応じた収集運搬業者、処分業者、中間処理施設、再資源化施設、最終処分場の受入条件等を調査する。(4.1.3)	第1ノ5節 一般事項	① 用語の定義	・ 「アスベスト含有建材」とは、アスベスト含有吹き付け材、アスベスト含有保温材等及びアスベスト含有成形板をいう。(6.1.2) ・ 「アスベスト含有吹き付け材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する吹き付け材をいう。 ・ 「アスベスト含有保温材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する保温材、耐火被覆板、断熱材をいう。 ・ 「アスベスト含有成形板」とは、上記以外のアスベストを重量で1%を超えて含有する成形板をいう。																														
	① 機器	解体撤去機器類は、それぞれの材質に応じて処理をする。		第2ノ5節 その他	② 施工調査	・ (a) アスベスト含有建材の有無を調査する施工調査は、目視及び設計図書等により製品名、製造所名、製造年等を確認することにより行い、調査結果を取りまとめ監督職員に提出する。(6.1.3) ・ (b) 施工調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督員と協議。 ・ (c) 分析によるアスベスト含有調査。																													
	② 木材	(1) 木材・合板類は、中間処理場にて処理を行い、リサイクルを図る。 リサイクル不可能な木材については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。 (2) 依頼完了後は速やかに中間処理業者が処理を引き受けたことを証明する書類を監督職員に提出する。 (3) 有害物を含む (C C A 処理木材等) の処理については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。			③ アスベスト粉じん濃度測定	・ (a) アスベスト粉じん濃度測定は特記による。(6.1.4) ・ (b) アスベスト粉じん濃度の測定方法は「 J I S K 3 8 5 0 - 1 空気中の繊維状粒子測定方法 - 第一部 : 位相差顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による。 ・ (c) 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 ・ (d) アスベスト粉じん濃度測定における計数分析は、作業環境測定士が行うものとする。																													
第4章 建設廃棄物の処理			第5章 特別管理産業廃棄物の処理等																																
節	項 目	特 記 事 項	節	項 目	特 記 事 項																														
第10節 一般事項	① 施工調査	・ 「建設廃棄物」に応じた収集運搬業者、処分業者、中間処理施設、再資源化施設、最終処分場の受入条件等を調査する。(4.1.3)	第1ノ5節 一般事項	① 用語の定義	・ 「アスベスト含有建材」とは、アスベスト含有吹き付け材、アスベスト含有保温材等及びアスベスト含有成形板をいう。(6.1.2) ・ 「アスベスト含有吹き付け材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する吹き付け材をいう。 ・ 「アスベスト含有保温材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する保温材、耐火被覆板、断熱材をいう。 ・ 「アスベスト含有成形板」とは、上記以外のアスベストを重量で1%を超えて含有する成形板をいう。																														
	① 機器	解体撤去機器類は、それぞれの材質に応じて処理をする。		第2ノ5節 その他	② 施工調査	・ (a) アスベスト含有建材の有無を調査する施工調査は、目視及び設計図書等により製品名、製造所名、製造年等を確認することにより行い、調査結果を取りまとめ監督職員に提出する。(6.1.3) ・ (b) 施工調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督員と協議。 ・ (c) 分析によるアスベスト含有調査。																													
	② 木材	(1) 木材・合板類は、中間処理場にて処理を行い、リサイクルを図る。 リサイクル不可能な木材については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。 (2) 依頼完了後は速やかに中間処理業者が処理を引き受けたことを証明する書類を監督職員に提出する。 (3) 有害物を含む (C C A 処理木材等) の処理については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。			③ アスベスト粉じん濃度測定	・ (a) アスベスト粉じん濃度測定は特記による。(6.1.4) ・ (b) アスベスト粉じん濃度の測定方法は「 J I S K 3 8 5 0 - 1 空気中の繊維状粒子測定方法 - 第一部 : 位相差顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による。 ・ (c) 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 ・ (d) アスベスト粉じん濃度測定における計数分析は、作業環境測定士が行うものとする。																													
第4章 建設廃棄物の処理			第5章 特別管理産業廃棄物の処理等																																
節	項 目	特 記 事 項	節	項 目	特 記 事 項																														
第10節 一般事項	① 施工調査	・ 「建設廃棄物」に応じた収集運搬業者、処分業者、中間処理施設、再資源化施設、最終処分場の受入条件等を調査する。(4.1.3)	第1ノ5節 一般事項	① 用語の定義	・ 「アスベスト含有建材」とは、アスベスト含有吹き付け材、アスベスト含有保温材等及びアスベスト含有成形板をいう。(6.1.2) ・ 「アスベスト含有吹き付け材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する吹き付け材をいう。 ・ 「アスベスト含有保温材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する保温材、耐火被覆板、断熱材をいう。 ・ 「アスベスト含有成形板」とは、上記以外のアスベストを重量で1%を超えて含有する成形板をいう。																														
	① 機器	解体撤去機器類は、それぞれの材質に応じて処理をする。		第2ノ5節 その他	② 施工調査	・ (a) アスベスト含有建材の有無を調査する施工調査は、目視及び設計図書等により製品名、製造所名、製造年等を確認することにより行い、調査結果を取りまとめ監督職員に提出する。(6.1.3) ・ (b) 施工調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督員と協議。 ・ (c) 分析によるアスベスト含有調査。																													
	② 木材	(1) 木材・合板類は、中間処理場にて処理を行い、リサイクルを図る。 リサイクル不可能な木材については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。 (2) 依頼完了後は速やかに中間処理業者が処理を引き受けたことを証明する書類を監督職員に提出する。 (3) 有害物を含む (C C A 処理木材等) の処理については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。			③ アスベスト粉じん濃度測定	・ (a) アスベスト粉じん濃度測定は特記による。(6.1.4) ・ (b) アスベスト粉じん濃度の測定方法は「 J I S K 3 8 5 0 - 1 空気中の繊維状粒子測定方法 - 第一部 : 位相差顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による。 ・ (c) 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 ・ (d) アスベスト粉じん濃度測定における計数分析は、作業環境測定士が行うものとする。																													
第4章 建設廃棄物の処理			第5章 特別管理産業廃棄物の処理等																																
節	項 目	特 記 事 項	節	項 目	特 記 事 項																														
第10節 一般事項	① 施工調査	・ 「建設廃棄物」に応じた収集運搬業者、処分業者、中間処理施設、再資源化施設、最終処分場の受入条件等を調査する。(4.1.3)	第1ノ5節 一般事項	① 用語の定義	・ 「アスベスト含有建材」とは、アスベスト含有吹き付け材、アスベスト含有保温材等及びアスベスト含有成形板をいう。(6.1.2) ・ 「アスベスト含有吹き付け材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する吹き付け材をいう。 ・ 「アスベスト含有保温材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する保温材、耐火被覆板、断熱材をいう。 ・ 「アスベスト含有成形板」とは、上記以外のアスベストを重量で1%を超えて含有する成形板をいう。																														
	① 機器	解体撤去機器類は、それぞれの材質に応じて処理をする。		第2ノ5節 その他	② 施工調査	・ (a) アスベスト含有建材の有無を調査する施工調査は、目視及び設計図書等により製品名、製造所名、製造年等を確認することにより行い、調査結果を取りまとめ監督職員に提出する。(6.1.3) ・ (b) 施工調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督員と協議。 ・ (c) 分析によるアスベスト含有調査。																													
	② 木材	(1) 木材・合板類は、中間処理場にて処理を行い、リサイクルを図る。 リサイクル不可能な木材については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。 (2) 依頼完了後は速やかに中間処理業者が処理を引き受けたことを証明する書類を監督職員に提出する。 (3) 有害物を含む (C C A 処理木材等) の処理については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。			③ アスベスト粉じん濃度測定	・ (a) アスベスト粉じん濃度測定は特記による。(6.1.4) ・ (b) アスベスト粉じん濃度の測定方法は「 J I S K 3 8 5 0 - 1 空気中の繊維状粒子測定方法 - 第一部 : 位相差顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による。 ・ (c) 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 ・ (d) アスベスト粉じん濃度測定における計数分析は、作業環境測定士が行うものとする。																													
第4章 建設廃棄物の処理			第5章 特別管理産業廃棄物の処理等																																
節	項 目	特 記 事 項	節	項 目	特 記 事 項																														
第10節 一般事項	① 施工調査	・ 「建設廃棄物」に応じた収集運搬業者、処分業者、中間処理施設、再資源化施設、最終処分場の受入条件等を調査する。(4.1.3)	第1ノ5節 一般事項	① 用語の定義	・ 「アスベスト含有建材」とは、アスベスト含有吹き付け材、アスベスト含有保温材等及びアスベスト含有成形板をいう。(6.1.2) ・ 「アスベスト含有吹き付け材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する吹き付け材をいう。 ・ 「アスベスト含有保温材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する保温材、耐火被覆板、断熱材をいう。 ・ 「アスベスト含有成形板」とは、上記以外のアスベストを重量で1%を超えて含有する成形板をいう。																														
	① 機器	解体撤去機器類は、それぞれの材質に応じて処理をする。		第2ノ5節 その他	② 施工調査	・ (a) アスベスト含有建材の有無を調査する施工調査は、目視及び設計図書等により製品名、製造所名、製造年等を確認することにより行い、調査結果を取りまとめ監督職員に提出する。(6.1.3) ・ (b) 施工調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督員と協議。 ・ (c) 分析によるアスベスト含有調査。																													
	② 木材	(1) 木材・合板類は、中間処理場にて処理を行い、リサイクルを図る。 リサイクル不可能な木材については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。 (2) 依頼完了後は速やかに中間処理業者が処理を引き受けたことを証明する書類を監督職員に提出する。 (3) 有害物を含む (C C A 処理木材等) の処理については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。			③ アスベスト粉じん濃度測定	・ (a) アスベスト粉じん濃度測定は特記による。(6.1.4) ・ (b) アスベスト粉じん濃度の測定方法は「 J I S K 3 8 5 0 - 1 空気中の繊維状粒子測定方法 - 第一部 : 位相差顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による。 ・ (c) 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 ・ (d) アスベスト粉じん濃度測定における計数分析は、作業環境測定士が行うものとする。																													
第4章 建設廃棄物の処理			第5章 特別管理産業廃棄物の処理等																																
節	項 目	特 記 事 項	節	項 目	特 記 事 項																														
第10節 一般事項	① 施工調査	・ 「建設廃棄物」に応じた収集運搬業者、処分業者、中間処理施設、再資源化施設、最終処分場の受入条件等を調査する。(4.1.3)	第1ノ5節 一般事項	① 用語の定義	・ 「アスベスト含有建材」とは、アスベスト含有吹き付け材、アスベスト含有保温材等及びアスベスト含有成形板をいう。(6.1.2) ・ 「アスベスト含有吹き付け材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する吹き付け材をいう。 ・ 「アスベスト含有保温材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する保温材、耐火被覆板、断熱材をいう。 ・ 「アスベスト含有成形板」とは、上記以外のアスベストを重量で1%を超えて含有する成形板をいう。																														
	① 機器	解体撤去機器類は、それぞれの材質に応じて処理をする。		第2ノ5節 その他	② 施工調査	・ (a) アスベスト含有建材の有無を調査する施工調査は、目視及び設計図書等により製品名、製造所名、製造年等を確認することにより行い、調査結果を取りまとめ監督職員に提出する。(6.1.3) ・ (b) 施工調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督員と協議。 ・ (c) 分析によるアスベスト含有調査。																													
	② 木材	(1) 木材・合板類は、中間処理場にて処理を行い、リサイクルを図る。 リサイクル不可能な木材については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。 (2) 依頼完了後は速やかに中間処理業者が処理を引き受けたことを証明する書類を監督職員に提出する。 (3) 有害物を含む (C C A 処理木材等) の処理については、受入先リストの提出の上、監督職員との協議を行う。			③ アスベスト粉じん濃度測定	・ (a) アスベスト粉じん濃度測定は特記による。(6.1.4) ・ (b) アスベスト粉じん濃度の測定方法は「 J I S K 3 8 5 0 - 1 空気中の繊維状粒子測定方法 - 第一部 : 位相差顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による。 ・ (c) 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 ・ (d) アスベスト粉じん濃度測定における計数分析は、作業環境測定士が行うものとする。																													
第4章 建設廃棄物の処理			第5章 特別管理産業廃棄物の処理等																																
節	項 目	特 記 事 項	節	項 目	特 記 事 項																														
第10節 一般事項	① 施工調査	・ 「建設廃棄物」に応じた収集運搬業者、処分業者、中間処理施設、再資源化施設、最終処分場の受入条件等を調査する。(4.1.3)	第1ノ5節 一般事項	① 用語の定義	・ 「アスベスト含有建材」とは、アスベスト含有吹き付け材、アスベスト含有保温材等及びアスベスト含有成形板をいう。(6.1.2) ・ 「アスベスト含有吹き付け材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する吹き付け材をいう。 ・ 「アスベスト含有保温材」とは、アスベストを重量で1%を超えて含有する保温材、耐火被覆板、断熱材をいう。 ・ 「アスベスト含有成形板」とは、上記以外のアスベストを重量で1%を超えて含有する成形板をいう。																														
	① 機器	解体撤去機器類は、それぞれの材質に応じて処理をする。		第2ノ5節 その他	② 施工調査	・ (a) アスベスト含有建材の有無を調査する施工調査は、目視及び設計図書等により製品名、製造所名、製造年等を確認することにより行い、調査結果を取りまとめ監督職員に提出する。(6.1.3) ・ (b) 施工調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督員と協議。 ・ (c) 分析によるアスベスト含有調査。																													
	② 木材	(1) 木材・合板																																	

工 事 件 名	図 面 名 称	縮 尺	設計年月日	訂正年月日	照査・検図	総括設計者	担当設計者	構造設計者	図 面 番 号
皆野町文化会館空調設備更新工事	解体工事特記仕様書2		H29.03						A-009